

客観的な指標の算出方法の公表について

学校法人 国際総合学園
国際アート&デザイン大学校

1. 授業科目の学修成果の評価に係る取組

学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。

期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。

期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。

成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。

A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。

2. 客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組

成績評価においては、客観的指標を設定するために、授業科目ごとの成績評価を100点満点に換算した上で取得点数の平均を求める仕組みを導入している。

各学生の平均得点と相対順位を把握する成績評価方法は以下の通りである。

- ・学科単位を基本として全学生が履修した科目の総得点から平均を求め、「成績一覧表」により学年毎の順位を求める。
- ・学生の平均得点と相対順位をもとにした「得点分布表」により、学科学年ごとの成績の分布状況を把握する。

この成績評価方法は半期ごとの集計も可能な方法となっており、「前期」、「後期」、「通年」の成績分布が把握可能な方法である。

成績評価の実施については、これらの成績評価の方法により学科学年ごとに実施しており、客観的指標の設定についてはHPにて公開されている。

3. 客観的な指標の算出方法の例示

①成績一覧表の例示

学生番号	氏名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	平均点
1	〇〇〇〇												
2	〇〇〇〇												
3	〇〇〇〇												
4	〇〇〇〇												
5	〇〇〇〇												
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													

②得点分布表の例示

〇〇〇〇年度

客観的な指標の算出方法		学科名	学年	学生数		
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均点により下位 1 / 4 に該当する人数及び下位 1 / 4 に該当する指標の数値を算出する。 (100点満点で点数化)		成績分布				
		指標の数値			人数	
		100点	~	91点	0	
		90点	~	81点	0	
		80点	~	71点	0	
		70点	~	61点	0	
		60点	~	51点	0	
		50点	~	41点	0	
		40点	~	31点	0	
		30点	~	21点	0	
下位 1 / 4 に該当する人数	0	人				
下位 1 / 4 に該当する指標の数値	0	点以下	20点	~	11点	0
			10点	~	0点	0

以上。